

議第 1 号

平成 29 (2017) 年度 社会福祉法人大木会 事業報告

《法人本部》

1、本年度の総括

平成 29 年 4 月 1 日、「社会福祉法等の一部を改正する法律」が施行され、公益性・非営利性を確保する観点から制度を見直し、国民への説明責任を果たし、地域社会に貢献する法人の在り方を徹底する、いわゆる社会福祉法人の制度改革が行われました。

当法人においても関係する行政機関との協議を経て、定款をはじめ諸規程の改正、役員の体制整備等を整え法改正に対応した運営の下にこれまで取り組んでいた運営方針を大切にしながら各施設・事業の運営に取り組みました。

当法人が所有する資産の状況から、福祉充実計画の策定・実施が求められます。5 年次計画をもとに実施しますが、現行事業の充実と再整備を重要課題として年次ごとに見直しを行い有効的に進めることとしています。

本会事業の根幹である入所施設の運営では、生活処遇（生活環境、活動環境とその取り組み）の向上と入所者とともに活動する職員の資質向上と処遇改善に取り組みました。

以上をはじめ重点事項及び各事業報告については以下のとおり報告します。

1) 【重点事項】

1. 制度改革への対応と財務、事業ともに透明性の高い法人活動を進める

- ・新定款（平成 29 年 4 月 1 日施行）の下に新評議員会が発足、6 月 26 日、第 2 回評議員会において平成 28 年度事業報告、決算報告が承認され新理事体制に移行しました。
- ・「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」へ報告し、現況報告（決算報告等）及び計算書類が WAMNET（検索サイト：独立行政法人福祉医療機構）で公表。また、所轄庁（湖南市）に社会福祉充実計画を登録。
- ・法人会議において法人業務、各事業の現状及び進捗確認を行い事業の円滑な執行に努めました。

2. 増設したグループホーム（碧天）の活動を軌道にのせる

- ・6 月より 2 名の男子入居利用者を迎え、週末帰省を挟みながら供用を開始した。早期の定員充足は運営上も重要課題ですが、入居者の生活状況の把握と安定を第一の課題として取り組み、一定の安定した生活を整えることができました。

3. 職員の資質向上と処遇改善に取り組む。利用者と職員がともに育つ教育的支援環境の醸成に努める

- ・計画的な職員研修実施に向けて、新任研修 3 回、一般職員研修 4 回（2 グループ各 2 回）実施しました。障害特性の理解を深めるとともに職員間の討議の場を意識した研修を行い、継続実施としています。
- ・主任（リーダー）等の役割と責任業務を見直し給与規程の改正を行い処遇の改善に対応しました。また、一般職員の勤務時間を掌握管理により、超過勤務削減への対応につなげました。

4. 建物および設備の整備・改修・更新について

法人事業としては、平成 28 年度補助による年度繰越事業としてグループホームおおきな木のスプリンクラー設置及び消防通報設備工事を完了しました。

また、各施設での整備等についても適時に改修及び設備の更新を行いました。

5. (一碧文庫を拠点とした) 大木会の活動について

一碧文庫を拠点として、福祉・障害児者教育における先駆者の実践記録の資料整理の継続（担当：齋藤顧問）とともに青山塾が開講し、第 1 期生（A コース 13 名、B コース 12 名）を迎え、無事に初年度を終えました。

2) 長期借入金返済状況

- ・(独) 福祉医療機構からの施設整備等の長期借入金については、グループホーム（碧天）整備のため平成 29 年 2 月 8 日、新規に 30,000 千円の借入金（15 年賦、年利 0.34%）を設定していますが、元金償還開始を 2 年猶予（平成 31 年 1 月返済開始）。本年度計 11,500 千円を返済し、年度末残高は 82,500 千円となりました。
- ・(株) 滋賀銀行より、特殊浴室棟建設に伴い 30,000 千円の借入金（10 年賦、年利 1.00%）を新たに設定。本年度計 7,403 千円を返済し、年度末残高は 55,119 千円となります。

（平成 30 年 3 月 31 日現在） 単位：円

使 途	借 入 先	期首残高	当期返済額	期末残高	完済年度
建物取得（一麦）	(独) 福祉医療機構	36,000,000	4,500,000	31,500,000	平成 36 年
建物取得（あざみ）	(独) 福祉医療機構	8,400,000	2,100,000	6,300,000	平成 32 年
建物取得（もみじ）	(独) 福祉医療機構	19,600,000	4,900,000	14,700,000	平成 32 年
建物取得（GH 碧天）	(独) 福祉医療機構	30,000,000	0	30,000,000	平成 44 年
小 計（1）		94,000,000	11,500,000	82,500,000	
建物取得（一麦職員寮）	(株) 滋賀銀行	34,772,000	4,653,000	30,119,000	平成 35 年
建物取得（特殊浴室棟増築）	(株) 滋賀銀行	27,750,000	2,750,000	25,000,000	平成 38 年
内 訳	一 麦	9,250,000	916,600	8,333,400	
	もみじ	9,250,000	916,800	8,333,200	
	あざみ	9,250,000	916,600	8,333,400	
小 計（2）		62,522,000	7,403,000	55,119,000	
総 計		156,522,000	18,903,000	137,619,000	

3) 施設・設備整備事業

- ・おおきな木スプリンクラー設備整備

平成 20 年度に開設した（グループホーム）おおきな木の消防設備（スプリンクラーおよび火災警報・通報装置）工事について、平成 28 年度補助事業（補助額：2,887 千円）に採択され、29 年度繰り越し事業として平成 29 年 8 月 31 日、工事完了、引き渡しを受けました。

4) 寄付採納について

平成 29 年度中に寄付採納した 91 件（39,592,200 円）のうち、高額寄付（20 万円以上）を方は、以下の個人、団体の方です。

- ・利用者家族関係（施設整備償還）：

一麦保護者会（5,570 千円）、もみじ・あざみ家族の会（7,000 千円）

小川孝氏（もみじ）、菊池節子氏（一麦）

- ・元利用者家族：鈴木秀和氏（もみじ）、北川勉氏（もみじ）、近藤八郎氏（あざみ）
- ・支援者：竹内正博氏（あざみ織名古屋展示販売会支援協力）
- ・助成団体：（一財）大井伊助積善会

2、役員会・評議員会関係

〈監事監査〉

1) 29年5月25日（木）、於大木会事務局

平成28年度理事、法人及び施設の執行状況及び財産管理状況、会計状況に関する監査。

〈理事会〉

1) 第1回理事会／29年6月6日（火）、於一麦

平成28年度会計収支補正予算（第四次）案の承認について。平成28年度事業報告の承認について。平成28年度会計収支決算報告の承認について。監事監査報告。社会福祉充実計画（案）の承認について。田村邸土地及び建物の受贈の承認について。〔協議・報告事項〕定款変更（すずらんホームの基本財産処分）。諸規定の一部改正（定款細則の施行、職員給与規程）。おおきな木スプリンクラー等消防設備工事の実施案。第二おおきな木建設（増築）工事完了報告。グループホーム碧天の運営状況。株式証券の時価評価について。

2) 第2回理事会／29年6月27日（火）、於一麦

新たに就任した理事による次期理事長及び常務理事の互選及び業務執行理事の選任について

3) 第3回理事会／29年9月26日（火）、於クサツエストピアホテル

平成29年度会計収支補正予算案の承認について。諸規程（経理規程、育児休業等に関する規程）の一部改正について。改正社会福祉法関連事項の点検について（社会福祉充実計画）〔協議・報告事項〕理事長の業務執行状況報告。役員の損害賠償保険契約。各施設の状況報告。

4) 第4回理事会／29年12月14日（木）、於一麦

平成29年度会計収支補正予算案（第二次）の承認について。諸規定（給与規程、就業規則）の一部改正の承認について。大木会奨学金返済支援制度の承認について。寄付金歳入の報告と承認について。〔協議・報告事項〕理事長の業務執行状況報告。副施設長人事。

5) 第5回理事会／平成30年3月22日（木）、於一麦

諸規程（（新設）奨学金返還支援制度規程、給与規程）の一部改正の承認について。平成30年度事業計画（案）について。平成30年度会計収支予算（案）について。〔協議・報告事項〕理事長の業務執行状況報告。グループホーム実地指導監査結果報告。寄付金歳入の報告。

〈評議員会〉

1) 第1回評議員会／29年6月26日（月）、於一麦

平成28年度会計収支補正予算（第四次）案の承認について。平成28年度事業報告の承認について。平成28年度会計収支決算報告の承認について。監事監査報告。社

会福祉充実計画（案）の承認について。理事及び監事の選任について。

〔協議・報告事項〕田村邸土地及び建物の受贈の承認。定款変更（すずらんホームの基本財産処分）。諸規定の一部改正（定款細則の施行、職員給与規程）。おおきな木スプリンクラー等消防設備工事の実施案。第二おおきな木建設（増築）工事完了報告。グループホーム碧天の運営状況。株式証券の時価評価について。理事会新体制について。

2) 第2回評議員会（決議の省略）／29年10月3日（火）、於一麦

平成29年度会計収支補正予算案の承認について。諸規程（経理規程、育児休業等に関する規程）の一部改正について。改正社会福祉法関連事項の点検について（社会福祉充実計画）

〔協議・報告事項〕理事長の業務執行状況報告。諸規程の一部改正の承認（経理規程、育児休業に関する規程）。役員の損害賠償保険契約。各施設の状況報告。

3) 第3回評議員会（決議の省略）／29年12月21日（木）、於一麦

平成29年度会計収支補正予算案（第二次）の承認について。大木会奨学金返済支援制度の承認について。

〔協議・報告事項〕理事長の業務執行状況報告。副施設長人事。諸規程の一部改正（職員給与規定、短時間勤務職員就業規則/無期転換）。寄付金歳入の報告。

4) 第4回評議員会／平成30年3月29日（水）、於一麦

平成30年度事業計画（案）について。平成30年度会計収支予算（案）について。

〔協議・報告事項〕理事長の業務執行状況報告。諸規程の施行及び一部改正（奨学金返還支援制度規程、職員給与規程）グループホーム実地指導監査結果報告。寄付金採納の報告。

3、規則・規程の制定／改廃

29年6月6日 職員給与規程の一部改正（業務管理職手当の新設）

29年9月26日 育児休業に関する規程（育児休業の期間）

社会福祉法人大木会経理規程（平成29年4月1日施行）

29年12月14日 職員給与規程の一部改正（処遇改善手当の改正）（平成29年4月1日施行）

短時間勤務職員就業規則（無期労働契約への転換）（平成30年4月1日施行）

30年3月22日 大木会奨学金返還支援制度規程（創設）（平成30年4月1日施行）

4、主な契約・許認可・届出

1) 契約

- ・大木会（GH）おおきな木消防設備整備工事請負契約 契約額 6,696,000 円
29年7月3日 ア・ア・ンコーポレーション（株） 代表取締役 山内英生
- ・「社会福祉法人用役員賠償責任保険」の加入 保険料 83,000 円
加入日：29年10月1日（期間：1年間）
被保険者：理事及び監事。評議員を含む。

2) 届出

・労務関係（労働基準法）

30年3月29日 第17条関係 時間外労働、休日労働に関する協定届

（但し、時間外労働については特別条項を付記）

第12条関係 1年単位の変形労働時間制に関する協定届

以上、一麦、もみじ・あざみ

5、登記関係

1) 29年6月28日 資産総額変更登記（平成29年3月31日現在）

6、主な事項・行事等

1) 法人・施設

29年9月14日 元大木会理事長 三浦了先生お別れ会

29年11月21日、22日（全職員）介護技術研修 講師：下山名月氏

2) 関連事業等

29年7月29日 大木会後援会総会

29年11月2日 糸賀一雄記念賞授賞式

29年12月11日 大木会後援会自主事業 善水寺見学（湖南省市）

7、なんでもお話し しましろう会（大木会福祉サービス苦情解決委員会）

・苦情受付、（聞き取り）お話し会開催状況

29年4月30日 於 あざみ・もみじ 男子2名、女子5名（第三者委員3名）

29年9月24日 於 一麦 男子6名、女子3名（第三者委員1名）

30年1月5日 於 おおきな木 女子6名（第三者委員1名）

30年1月28日 於 もみじ・あざみ 女子3名（第三者委員2名）

・委員会開催状況

4月、9月、1月のお話ししましろう会終了後に委員会を開催。第三者委員より、お話し会の報告と施設側より現況及び利用者個別の状況と処遇課題を報告し、必要に応じて第三者委員からの助言と意見交換を行い、課題と取り組む方向を整理する。今年度においては、特別な配慮と対応が必要とされるケースはありませんでした。

〈 一 表 〉

1、 実施事業

生活介護	定員 50 名
施設入所支援	定員 50 名
短期入所	定員 2 名(男 1、女 1)
日中一時支援事業	定員なし

緊急一時保護
災害時における福祉避難所

2、 利用者の異動

年度初日	定員 50 名	現員 48 名
年度末日	定員 50 名	現員 49 名 (平成 29 年 4 月 4 日男性 1 名入所)

3、 職員の異動

平成 29 年 4 月 1 日現在	31 名	施設長 1 (サービス管理責任者兼務) 事務長 1 副施設長 1 生活支援員 17 (常勤 15、短時間 1、嘱託 1) 嘱託医 1、看護師 1、栄養士 1、 調理員 4 (常勤 3、短時間 1) 書記 4 (常勤 4)
平成 30 年 3 月 31 日退職	3 名	(看護師 1 名、生活支援 1 名、書記 1 名)
中途退職者	3 名	(生活支援 2 名、書記 1 名)

4、 利用者と生活の状況

<特記事項>

年度末の 3 月になってインフルエンザ、感染性胃腸炎が連続して寮内に蔓延し、利用者・職員の多くが罹患し、終息するのに 1 ヶ月余の期間を要した。重篤な症状になることはなかったものの、集団生活による感染症の怖さを改めて痛感する。

年度内に数名の職員補充ができたものの、それ以上に中途退職者が多く、年度後半は職員体制上、厳しい状況が続いた。ただ、利用者が楽しみにしている行事や外出、特殊浴槽の利用などはしっかりと取り組むことができた。

<生活の様子>

女子利用者が平成 29 年 2 月に胆嚢癌の手術を受け、余命 1 年とのことであったが、2 度の入院(胆道ステント留置術)を経て、現在も寮でみんなと一緒に暮らしてもらっている。今年度、その他に入院がなかったことはありがたいことであった。

4 月 4 日、20 代の男子利用者を迎えた。アスペルガー症候群特有のコミュニケーションの難しさにより、パニックになることがあったが、徐々に寮の生活にも適応している。

<医療・診療状況>

<受診状況>

受診科	実人数	受診回数
内科	58	317
泌尿器科	12	2
外科	9	38
整形外科	11	87
婦人科	8	10
精神科	10	83
耳鼻咽喉科	6	13
眼科	4	8
皮膚科	13	138
歯科	47	544
リハビリ	3	258

<主な検診>

6/7	結核検診
7/5、12/13、3/7	内科健診（嘱託医）
9/12、9/28	腹部エコー
10/1	歯科検診（口腔センター）
11/1	インフルエンザ予防接種
10/12、13、31	婦人科検診
1/17	成人病健診

<入院>延人数 2人 期間 22日～47日

- ・甲賀病院(外科) 1名 22日
- ・甲賀病院(外科) 1名 47日

5、主な行事・活動

- 4/3 新人職員着任式・新年度会議、/5 帰寮日、/6 始業式、/13 お花見会(不問庵)
 /17-18 南組(女子棟)お楽しみ旅行 /29 天理教ひのきしん
- 5/1 氏神祭(雨天中止)、/5 親子はんごうすいさん、/18 古希・還暦祝会
 /28～6/2 帰省、 /31 害虫駆除
- 6/7 結核検診、/14 バス遠足(京都水族館)、/16 石部中学校ふれあい交流会①
 /15・28 ブラッシング指導、/22 避難訓練
- 7/17 七夕祭、/12～14 1組研修旅行(和歌山)、/19 古希・還暦祝会、/28 プールびらき
- 8/1 1学期お楽しみ会(紙芝居)、/2-3 一麦合宿、/6～16 帰省、/8 石部日赤奉仕、/23 地藏盆
- 9/11 古希・還暦お祝会、総合防災訓練、/12・28 腹部エコー
 /24 何でもお話ししましょう会
- 10/1 石部南学区まち協防災避難訓練、/4 お月見会、/7 石部南小体育大会
 /9 第56回運動会、/22～27 帰省、/23 害虫駆除
 /2-21 「一麦作品展」；京都教育大学
- 11/1 インフルエンザ予防接種、/5 ふれあい広場、/6 親子バス遠足(京都太陽が丘公園)
 /10 石部施設合同マラソン大会、/19 田村祭
 /24 石部中学ふれあい交流会②、2学期お楽しみ会(セルフうどん屋台)
- 12/3 NEGもちつき大会、/7 知ハン協文化の集い、/12 石部日赤奉仕団餅つき大会
 /13 内科健診、/24 クリスマス会、/25～1/5 帰省
- 1/17 成人病健診、/30 新年のお食事会・避難訓練(地震)
- 2/3 節分 /13 学期お楽しみ会(レクリエーション大会)、21 古希・還暦お祝会寮
 /25 卓球大会
- 3/3 ひなまつり、/4 日中活動クラス発表会、/7 内科健診、/16 総合防災訓練
 /25～4/5 帰省

6、主な施設整備

特になし

7、保護者会の活動状況

- 1) 29年5月28日 総会・役員選出、事業報告、事業計画、近況報告
- 2) 29年9月17日 大型台風直撃とのことで、9/15中止決定。
- 3) 29年12月3日 もちつき大会、遊戯アート検討会報告、保護者会会則の追記
提案、預り金報告、近況報告
- 4) 30年3月4日 親子すき焼き会、日中活動クラス活動紹介発表会、大木会の
ホームページについて、個別支援計画半期の見直し
近況および今年度の報告

〈もみじ〉

1、実施事業

生活介護 定員 50名
施設入所支援 定員 50名
短期入所 定員 4名(男2名、女2名)
日中一時支援事業 定員なし (緊急一時保護)
災害時における福祉避難所(湖南省)

2、利用者の異動

年度初日 定員 50名 現員 44名
年度中 8月1日 男子1名入所
9月1日 女子1名入所
9月21日 男子1名退所(死去、肝細胞癌、済生会滋賀県病院)
年度末日 定員 50名 現員 45名

3、職員の異動

29年4月1日現在 28名 $\left[\begin{array}{l} \text{施設長 1 (サービス管理責任者は兼務)} \\ \text{生活支援員 20 (常勤 12、短時間 8)} \\ \text{嘱託医 1、看護師 2 (短時間)、管理栄養士 1、} \\ \text{調理員 1(常勤 1)、書記 1} \end{array} \right]$
30年3月16日 採用 1名(看護師)
3月31日 退職 1名(生活支援員)

但し、平成29年9月末日、嘱託医契約を終了し、無医師配置施設となることで地域医療機関の往診及び訪問診療を受ける体制としました。

4、利用者の生活状況と取り組みについて

利用者の6割前後が65歳以上。近年の平均年齢は60歳～63歳を推移しています。個々の健康状態により生活状況は大きく違いますが、一般的には10年からそれ以上に早期に健康や日常生活への変化が現れます。医療ケア、日常生活上の介護、生活日課の在り方など生活のすべてにおいて対応の内容と頻度に変化し、日々の健康保持が第一の課題として迫っています。

一方では、日々の暮らしをしっかりと取り組む壮年期の皆さん。まだまだ自分の生活を築く途中の不安を抱えている利用者には、安心と生活の充実が最優先に求めなければなりません。

年齢、障害の程度、健康状態などそれぞれに違う中で各利用者が納得できる目標と課題に職員とともに向き合う生活を求めて取り組みを継続しています。

5、生活の変化と住環境の対応(施設・設備整備)

男子棟トイレを改修し、洋式便器への転換と転倒防止対策を行い生活対応を講じました。改築後18年が経過したことによる大規模な補修も必要になっています。

〈あざみ〉

1、実施事業

生活介護 定員 30名
施設入所支援 定員 30名
短期入所 定員 2名
日中一時支援事業 定員なし (緊急一時保護)
災害時における福祉避難所(湖南省)

2、利用者の異動

年度初日 定員 30名 現員 27名
年度末日 定員 30名 現員 25名

5月21日 1名死亡退所(大動脈弁狭窄症 あざみ)

*長期入院1名 平成27年5月から(水口病院、精神科)

*措置入所1名 平成28年8月1日から、平成30年3月1日付契約利用へ移行

3、職員の異動

29年4月1日現在 19名

施設長1名、サービス管理責任者1名 生活支援員10(常勤8、短時間2) 嘱託医1、看護師1(短時間1)、栄養士1、 調理員2、書記2

9月16日 採用1名(生活支援員)

*育児休業取得者1名(生活支援員)

4、利用者の生活状況と取り組みについて

利用者の6割前後が65歳以上。近年の平均年齢は60歳～63歳を推移しています。個々の健康状態により生活状況は大きく違いますが、一般的には10年からそれ以上に早期に健康や日常生活への変化が現れます。医療ケア、日常生活上の介護、生活日課の在り方など生活のすべてにおいて対応の内容と頻度が変化し、日々の健康保持が第一の課題として迫っています。

一方では、日々の暮らしをしっかりと取り組む壮年期の皆さん。まだまだ自分の生活を築く途中の不安を抱えている利用者には、安心と生活の充実が最優先に求めなければなりません。

年齢、障害の程度、健康状態などそれぞれに違う中で各利用者が納得できる目標と課題に職員とともに向き合う生活を求めて取り組みを継続しています。

5、生活の変化と住環境の対応(施設・設備整備)

個人の持ち物の管理・保管場所を整えるために各ユニットごとに個人ロッカーとして使用できる収納家具を整備しました。施錠は職員が管理しますが、大切な私有物が安心して保管できるようになりました。

改築後18年が経過したことによる大規模な補修も必要になっています。

もみじ・あざみ共通事項及び参考資料

1、医療・受診状況

〈通院状況〉

受診科	もみじ		あざみ	
	実人数	受診回数	実人数	受診回数
内科	42	331	24	186
外科	8	29	4	12
眼科	18	30	4	26
皮膚科	18	60	18	128
歯科	16	89	19	58
その他	24	408	15	83

〈定期健診等〉

4月28日	結核検診
7月10.11日	内科検診、腹部エコー
8月3日	歯科検診
11月2日	インフルエンザ予防接種
1月16.17日	成人病検診

*29年度は、精神科の対応が嘱託医の取り扱いとして未計上。

〈嘱託医契約〉 平成29年8月末日をもって本谷研司医師（精神科）との嘱託医契約を解除しました。必要な医療受診は診療の取り扱いで継続しています。また、地域の医療機関等からの往診も通常の診療で対応していただけるように体制を整えました。

〈入院の状況〉

もみじ： 済生会滋賀県病院（栗東市）4人

肝腫瘍（24日 死亡）、肺炎（26日）、褥瘡を伴う高熱（22日）、肝嚢胞（13日）

あざみ：水口病院（甲賀市）1人 精神科（多飲水による低ナトリウム血症） 長期入院中

：草津総合病院（草津市）1人 甲状腺腫瘍（11日）

：滋賀医科大学付属病院（大津市）1人 白内障（4日）

〈来診の状況〉：延べ38回

佐野医院（内科）4名（30回）

びわこ学園（内科）3名（21回）

阿星山診療所（精神科） もみじ：30名、あざみ15名（7回）

〈訪問マッサージ〉 たかはし治療院

計5名の利用者が、医師の意見書をもって身体機能の保持と低下の抑制を治療目標に、1～3回/週の割合で、訪問マッサージを受けています。

〈健康管理総括〉

加齢に伴う筋力・反射力の意低下、バランス障害（体幹機能低下）視力障害、精神的な不安定さなど要因は様々ですが、歩行不安定による転倒で骨折する方が増えています。

安心して生活を続けるためには、身体機能保持の工夫（リハビリ運動の導入も大切ですが、生活意欲の保持が重要と考えます）、環境の整備、寄り添いと見守りの大切さなど課題は大きい。

風邪・インフルエンザ・胃腸炎など罹患が疑われた際の早期の対応（通院）に努めているが、健康回復と元の生活に戻るまでにこれまで以上の期間が必要なケースが増えています。

2、生産活動と利用者工賃（報償費）報告について

平成29年度の収支予算の状況より、収入不足が見込まれていましたが、作業に取り組む利用者への対価報酬の観点より、昨年度同様の基準で支給しました。

本年においても収支差額がマイナスとなりました。原因は、収入額に対して工賃支給額の課題があります。決算処理において各施設の変動工賃積立金（もみじ：2,167,018円、あざみ：1,300,210円）を取り崩し、流動資産に移行し対応しました。

また、今後の対応について一部を代替えとして本人支給金の活用を検討しています。

(月額・人数)

工賃内訳	金額	延べ人数		月平均人数	
		もみじ	あざみ	もみじ	あざみ
基本給	1,000円	65	46	5.4	3.8
基本給+作業手当(3,000円)	4,000円	71	37	5.9	3.1
基本給+作業手当(3,000円) +皆勤手当(2,000円)	6,000円	483	208	40.3	17.3
12月ボーナス(1,000~5,000円)		52	24		

月額平均工賃（ボーナス含む）：作業参加日数を3区分で評価し上記工賃を支給しました。

もみじ 5,250円

あざみ 4,923円

3、生産活動報告

もみじ

科目	収入金額(円)	科目	支出金額(円)
生産活動収入		生産活動支出	
クリーニング事業入	2,638,600	材料費	410,141
陶芸事業収入	45,000	労務費(報償費)	3,522,700
農芸事業収入	296,074	外注加工費	0
その他の事業収入	52,200	経費	1,512,891
生産活動収入合計	3,031,874	生産活動支出合計	5,445,732
生産活動収支差額	△2,413,858		

あざみ

科目	収入金額(円)	科目	支出金額(円)
生産活動収入		生産活動支出	
織物事業収入	825,150	材料費	128,405
		労務費(報償費)	1,550,900
		外注加工費	0
		経費	62,700
生産活動収入合計	825,150	生産活動支出合計	1,742,005
生産活動収支差額	△916,855		

4、主な行事・活動

- 4/4 新年度会議、/5・8 帰寮日（3/26、/28～）、/10 始業式、
/21、22（株）甲賀高分子新人教育研修、/28 結核検診、/30 何でもお話ししましょう会
5/1 氏神祭、/3 宝来坂春祭、/24 石部日赤奉仕団奉仕作業、/28 運動会、/30 社会科学習
6/1 総合防災訓練、/16 石部中学1年生ふれあい活動、/26 石部小学校3年生交流会
7/4 石部小学校3年生交流会、/5 寮生旅行①、/7 七夕・創立記念日、/10.11 成人病検診
/14 避難訓練、/26 寮生旅行②
8/3 歯科検診、/6～18 夏季休暇帰省、/18 石部南小学校教員研修、/24 地藏盆
9/1～2 モニタリング会議①、/11 避難訓練、/14 追悼会、三浦了先生お別れ会、/20.21 寮生
旅行③（兵庫県）、/24 兄弟姉妹の会（大宴会）、/27～29 全国知的障害関係施設職員研究会
（名古屋）、/28 大木会新任職員研修
10/1 石部南学区防災訓練、/2 社会科学習、/5 滋賀県教員新任者研修、/6 避難訓練、/19 石
小交流会、/26 職員研修A①、/29 文化祭
11/1 避難訓練、/2 インフルエンザ予防接種、/3 男子棟祝、/5 ふれあい広場、/10 石部マラ
ソン・ウォーキング大会、/11 あざみ祝会、/12 石部南学区ふれあい祭、/16 職員研修B①・
社会科学習、/21.22 介護技術研修（下山氏）、/24 石部中学校1年ふれあい活動、/28.29
寮生旅行④（大阪）
12/1 アートコラボレーション、/5 石部小学校3年交流会、/7 文化の集い（守山）、/10 大津・
聖マリア教会慰問、/13 石部南幼稚園音楽会（合唱クラブ）、/16 クリスマス会、/25 社
会科学習、/28 門松作り（かなかなサロン）、/24.28 冬期休暇帰省（～1/5.6）
/28 大木会新任研修②
1/8 仕事始め、/職員研修A②
2/1～2 モニタリング・全体支援会議②、/3 節分、/15.16 近畿地区職員研修
3/4 ひな祭り寮生劇、/17 教会ボランティアコンサート、25.282～4/5.7 春休み

5、家族の会開催状況

- | | |
|-------------|---------------------------|
| 1) 29年6月3日 | 役員会 |
| 2) 29年6月25日 | 総会 28年度事業報告、利用者預り金報告、近況報告 |
| 3) 30年1月20日 | 役員会 |
| 4) 30年2月3日 | 湖南地区別懇談会（石部会場） |
| 30年2月4日 | 湖北地区別懇談会（彦根会場） |
| 30年2月11日 | 関西地区別懇談会（京都会場） |
| 30年2月12日 | 関東・新潟地区別懇談会（東京会場） |

〈グループホームおおきな木〉

1、事業及び体制の概要

事業名 (グループホーム)共同生活援助 (介護包括型)

指定期間 平成26年4月1日から平成32年3月31日まで

定員 6名

職員配置基準 管理者 宮城てるみ

サービス管理責任者 宮城てるみ

生活支援員 1名(世話人兼務)(25時間/週以上)

世話人 3名(55時間/週以上)

夜間支援体制(宿直):法人関係職員が担当

*平成29年8月1日から、支援体制を変更 世話人4:1→6:1

2、利用者の異動

年度初日 定員6名 現員6名

年度末日 定員6名 現員6名

3、主な活動及びホームの動き

- ・入居者誕生会(誕生月毎)
- ・5/2 外食会(回転ずし)、5/6 映画外出
- ・8/12 人形劇鑑賞(栗東さきら)、8/16 お盆休み映画外出
- ・9/1.2 銭湯外出(2組)
- ・1/2 お正月休み外出(映画・外食)

*避難訓練(避難、通報、消火) 平成29年11月23日

4、個別の活動や余暇

- ・休日のもみじ・あざみへ
- ・お手前のおけいこ
- ・NPO法人ワイワイあぼしクラブ主催の余暇活動(月1回・実費)
- ・はりっ娘(刺子、編物、小物づくり等)余暇活動へ 月1回 於:不問庵

5、日中活動、就労状況

6名の入居者の日中の活動は様々です。2名は雇用(福祉的)による仕事に取り組み、2名は他法人運営の作業所、2名がもみじの生活介護を利用しています。いずれの場合も事業所との連携のもと、長く続けられるように取り組んでいます。

6、その他の事項

- ・運営会議(現況確認と利用者の意見交換) 毎月1回
- ・スタッフ調整会議(業務確認とケース会議等) 毎月1回
- ・新しいホーム碧天は、おおきな木の皆さんにとっては気分転換になるようです。

〈グループホーム碧天（あおぞら）〉

1、事業及び体制の概要

事業認可日 平成 29 年 4 月 1 日

供用開始日 平成 29 年 6 月 19 日

事業名 (グループホーム)共同生活援助 (介護包括型)

指定期間 平成 29 年 4 月 1 日から平成 35 年 3 月 31 日まで

定員 6 名

職員配置基準 管理者 辻 好 明

サービス管理責任者 三上智美

生活支援員 1 名(世話人兼務) (23 時間/週以上)

世話人 3 名(37 時間/週以上)

世話人による支援体制 6 : 1

夜間支援体制 (宿直) : 法人関係職員が担当

2、利用者の異動

年度初日 定員 6 名 現員 0 名 但し、6 月 19 日から 2 名

年度末日 定員 6 名 現員 2 名

3、生活状況からこれからの課題に向けて

運営上の問題 (スタッフの確保と休日の支援が不確定) から、週末帰省を基本としてスタートした。入居者の生活を見極めながら週末もホームで過ごす体制を月 1 回程度取り入れるようになった。

2 名の入居者は、20 代の青年期で在宅生活からホームへの生活移行で、それぞれ生活適応を心配しましたが、ある程度自分の過ごし方を持ち過ごすことができています。しかし、ともに予定の変更や未定のことについては不安が大きく、将来に向けての生活課題は大きいように思われます。特に、対人関係において相互関係から学び、育つことが必要です。

入居者の充足課題とともに大木会が運営するホームの方針とホーム利用者に求めている生活課題の位置づけを明確にしていく必要があります。

＜大木会相談支援事業所＞

1、事業及び体制

従業者の体制

管 理 者	多田勝則（兼務：大木会事務局長）
相談支援専門員	上林 豊（兼務：一麦 主任生活支援員）
相談支援専門員	長山理恵（兼務：もみじ 主任生活支援員）
	* 概ね常勤換算 1.0 で相談支援専門員を配置。
事務担当	松田圭隆（兼務：もみじ・あざみ施設長）

2、業務総括

経過措置期間が平成 30 年 3 月で終了し、福祉サービス利用者の全員がサービス等利用計画又はセルフプランの作成をもってサービス利用が開始されます。

計画業務も 3 年目を迎え、ようやく担当者の業務手順が慣れてきたように感じられます。サービス計画を担当するほとんどの利用者が大木会の各施設を利用しているため、比較的スムーズに進めることができますが、兼務の相談員であるため 1 か月に担当できるケースは、10 ケース程度が限界です。

現状の職員配置では、積極的に対象者を地域に目を向けて、児童を担当することは適切ではないと判断しています。

3、業務まとめ

計画相談担当ケース状況

(人数)

区 分	大木会相談支援	他の事業所	セルフプラン	合計
一 麦	44	5		49
もみじ	31	14	1	46
あざみ	21	2	2	25
グループホーム	4	4		8
地 域	2			2
合 計	102	25	3	130